

議会だより

目次	Contents
委員会報告	2 ～ 4 P
一般質問など	5 ～ 13 P
議案の審議結果など	14 ～ 15 P
次回定例会日程	16 P



海川桜つづみ 4月12日

第3回定例会を開催 ～2月21日から3月22日まで～

本定例会では、条例関係、予算関係などの議案33件、請願1件及び議員発議1件を審議しました。

1月14日開催の第1回臨時会、2月1日開催の第2回臨時会及び本定例会における審議結果は、14、15ページをご覧ください。

また、17人が一般質問を行いました。

議会の動き

1月

- 7日 議会運営委員会
- 12日 建設産業常任委員会
- 13日 上越三市議会議長会(上越市)
- 14日 第1回臨時会
- 18日 総務文教常任委員会
- 25日 議会運営委員会

2月

- 1日 第2回臨時会
全員協議会
- 3日 市民厚生常任委員会
- 9日 建設産業常任委員会

- 14日 議会運営委員会
- 16日 コンプライアンス調査推進特別委員会
- 21日 本会議(初日)
- 28日 本会議(一般質問)(3月1日、3日、4日)

3月

- 8日 総務文教常任委員会
- 9日 建設産業常任委員会
- 10日 市民厚生常任委員会
- 11日 予算審査特別委員会(14日、15日、16日)
- 18日 議会運営委員会
- 22日 本会議(最終日)

常任委員会

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行うための常設の委員会です。

本会議で付託された議案等の案件について、3つの常任委員会で審査しました。
各常任委員会の審査件数や所管事項調査の項目、主な質疑の内容（本定例会最終日の委員長報告より抜粋）は次のとおりです。

総務文教常任委員会

条例の制定6件、補正予算1件、その他の議案1件を審査しました。また、「第4次行政改革大綱について」「市職員の処分について」「いじめ・不登校の状況について」の所管事項調査を行いました。

〇糸魚川市コンプライアンス審査会条例の制定について

質疑 何か問題が起きたときに、審査会の委員に直接情報が伝わる仕組みになっているか。市の判断で、審査会にかけられる事案とかけない事案ができてしまうことはないか。市民や職員から直接、審査会に通報できることを明確にしないと厳しい審査会にならないのではないか。

答弁 外部相談員のうち2名は、コンプライアンス審査会の委員を兼ねる。外部相談員に相談のあった事案は、直接、審査会に報告が上がる仕組みとしたい。

建設産業常任委員会

条例の制定3件、補正予算4件、その他の議案1件、請願1件を審査しました。

〇柵口温泉権現荘管理運営事業（新型コロナ対応）（一般会計補正予算）

質疑 平成29年度と比較して、令和3年度の広告費がかなり増額している理由は何か。

答弁 以前は、旅行会社などを通じた旅行が多かったが、現在では、個人旅行や団体旅行でも、インターネットを通じた申込件数が増えていることから、インターネットで予約する際の広告費が増額したためである。

市民厚生常任委員会

条例の制定3件、補正予算2件を審査しました。

〇糸魚川市犯罪被害者等支援条例の制定について

質疑 特殊詐欺の被害に遭った場合も見舞金の支給対象になるのか。

答弁 刑法その他の刑罰法令に規定する生命及び身体に害する罪に当たる行為により、負傷、疾病、精神疾患の状態になった場合に見舞金支給の対象となるため、特殊詐欺被害は対象とならない予定である。

閉会中の所管事項調査

常任委員会が定例会の会期以外に行う調査です。

総務文教常任委員会

1月18日

- ◎ リスク分担の考え方について

建設産業常任委員会

1月12日

- ◎ 糸魚川市地域公共交通網形成計画の延長に伴う修正について
- ◎ 糸魚川市移動等円滑化（バリアフリー）促進方針の策定について

- ◎ 都市再生整備計画事後評価（糸魚川駅北地区）について
- ◎ にぎわいの拠点（子育て支援センター計画）について

2月9日

- ◎ 駅北子育て支援施設の検討状況について
- ◎ えちごトキめき鉄道の運営について

市民厚生常任委員会

2月3日

- ◎ 新型コロナウイルスワクチン接種について

委員会協議会

閉会中や休会中に常任委員会の所管に係る事項その他問題について協議する事実上の会議です。

建設産業常任委員会

2月9日

- ◎ にぎわいの拠点（子育て支援センター）について

議会運営委員会

議会運営をスムーズに進めるために、議会全般にわたる事項について協議・調整する委員会です。

1月7日

- ◎ 第1回市議会臨時会の会期及び日程について
- ◎ 議会運営について

1月25日

- ◎ 第2回市議会臨時会の会期及び日程について

2月14日

- ◎ 第3回市議会定例会の会期及び日程について
- ◎ 請願・陳情の付託について
- ◎ 予算審査について
- ◎ 委員長報告について
- ◎ 令和3年度予算議会費の補正について
- ◎ 議会運営について

3月18日

- ◎ 追加議案について
- ◎ 委員長報告について
- ◎ 議員発議について
- ◎ 閉会中の継続調査の申出について
- ◎ 6月定例会の会期及び日程（予定）について
- ◎ 議会運営について

特別委員会

市の重要課題について、専門的に調査研究を行うため、必要に応じて設置される委員会です。

予算審査特別委員会



保坂 悟 委員長



横山 人美 副委員長



予算審査特別委員会

令和4年度当初予算案を可決

本定例会初日に予算審査特別委員会（議長を除く17人の議員で構成）を設置し、令和4年度の一般会計、特別会計6件及び企業会計4件の審査を行いました。予算案は全て原案どおり可決しました。

定例会最終日の委員長報告（概要）は次のとおりです。

2 款 総 務 費 財政課関係

電子入札システム使用料や入札監視委員報酬などに係る質疑から、健康づくりセンター屋内プール増築実施設計業務委託の積算誤りについて、元市職員に対して市が行った質問に対する回答を待っていたが、回答を得られないことが分かった。健康づくりセンター屋内プール増築実施設計業務委託の積算誤りについて、3月中に警察と公正取引委員会に対し、相談することを求めた。

3 款 民 生 費 福祉事務所関係

介護従事者の処遇改善について、当市と富山県内の事業所の賃金が大きく異なるという事例があることから、賃金の調査を求める意見があった。また、入所者の安全に関わるため、ポケベル、PHSなどの備品修繕ができない施設についての現状把握を行うべきという意見もあった。

7 款 商 工 費 能生事務所、商工観光課関係

柵口温泉権現荘管理運営事業について、市直営時代からの設置目的と現状を踏まえて、第三セクターの株式会社能生町観光物産センターの経営状況と指定管理料の在り方を含めて幅広く質疑が行われた。リスク分担における不可抗力の定義について、法律上の定義を検証することを求めた。

サイクルツーリズム推進事業について、久比岐自転車道の看板が有料道路と間違われることや自転車スタンドがないことなどの改善を求める意見があった。

10 款 教 育 費 生涯学習課関係

図書館窓口業務の外部委託に関して、図書館司書の有効活用や図書館と地域活性化の取組についての質疑があり、図書館はその都市の文化度を測る指標とも言われていることから、図書館の外見だけでなく、図書の内容や展示の仕方など、しっかり取り組んでいきたいと答弁があった。



コンプライアンス調査推進特別委員会

2月16日

- ◎ 不正入札の防止等について
- ◎ 不正防止に向けた取組について

本定例会最終日に2回目の中間報告を行いました。概要は次のとおりです。

中間報告

令和3年7月1日に設置された本特別委員会の付議事件は、「不正入札の防止等について」「公務員と選挙の関わり方について（特別職、議員を含む）」「不正防止に向けた取組について」の3項目である。

令和3年9月定例会最終日に中間報告を行っており、それ以降に開催した委員会における調査等の内容を報告する。

令和3年10月20日の委員会について

糸魚川市官製談合再発防止対策検討委員会（以下「第三者委員会」という。）が事業者に行った「入札・契約制度に関するアンケート」の集計結果について報告を受け、質疑を交わした。アンケートにあった意見を受け、現職の議員18名に対する入札に関するアンケートの実施を決定した。（糸魚川市議会議員アンケート集計結果は、議会だより76号に掲載）

なお、裁判における元市職員からの「機会があれば、話をして今後の改善にしていきたい。」という発言を受け、当委員会においても元市職員に対する質問項目をまとめ、文書にて質問を行うことになった。

令和3年12月8日の委員会について

冒頭市長より、健康づくりセンター屋内プール増築実施設計業務委託の入札で、予定価格を算出する際の積算に誤りがあったことから、事実と経緯を調査することと、公職選

挙法違反の疑いで選挙管理委員会が告発した案件について、新潟県警察本部から検察庁に送検されたことについて報告があった。

糸魚川市の建設工事等に係る入札制度や「職員コンプライアンス意識、職場環境状況調査」の集計結果等について報告を受けた。また、健康づくりセンター屋内プール増築実施設計業務委託の積算誤りについて、官庁施設の設計業務等積算基準及び積算要領についての資料を基に説明を受け、入札状況の調査を行った。

令和4年2月16日の委員会について

第三者委員会から市長に提出された「糸魚川市官製談合再発防止対策に関する提言」や入札制度の見直しの方針及び入札の不調対策等について報告を受けた。

健康づくりセンター屋内プール増築実施設計業務委託の積算誤りについて、受注者に対し応札額を決定した過程などを問い合わせた結果について報告を受けた。また、元市職員が過去5年間に設計・監督した業務委託について確認した。

委員より、元市職員と元会社員から協力を得られないということであるが、市としては打つ手なしという認識でよいかという質疑があり、市の調査には強制力がなく、任意の協力となることから、相手方の協力がないと、市としては現段階でこれ以上調査ができないという認識であると答弁があった。

新型コロナウイルス感染症対策について全員協議会を開催

当市において、新型コロナウイルス感染症が拡大していることから2月1日に全員協議会を開催し、市から説明を受け、質疑を行いました。

全員協議会とは………

市政に関する重要な事件又は議会運営に関する事項について協議又は調整するため、議員全員が出席して開かれる会議です。



全員協議会の様子

※二次元バーコードをスマートフォンやタブレット端末で読み取ると、各議員の一般質問の録画中継を視聴できます。



中村 実
議員

問 北朝鮮拉致問題への糸魚川市の取組について

質問

糸魚川市でも旧青海町の藤田進さんが特定失踪者として登録されているが、まだ拉致認定されていない。今後、藤田進さんの拉致認定と拉致被害者全員の早期帰国に向け、署名活動やパネル展、小中学校でのDVD教育などを通し、この忌ま忌ましい出来事を忘れることがないように、いろいろな取組を進めていく必要があると思うが、市の考えを伺う。

- (1) パネル展や署名活動は行っているか。
- (2) 小中学校でのDVD教育は行っているか。
- (3) 特定失踪者問題調査会と市の連携はあるか。

市長答弁

- (1) 令和元年度にパネル展を開催しているが、署名活動は行っていない。
- (2) 小中学校では、道徳や社会科の授業でDVDや書籍などの教材を活用して学習を進めている。
- (3) 特定失踪者問題調査会との連携はないが、市町村長の会を通じて、国に要望している。

問 糸魚川市新エネルギービジョンの進捗状況について

質問

- (1) 「第1次糸魚川市新エネルギービジョン」の成果は何か。
- (2) 「第2次糸魚川市新エネルギービジョン」に向けての取組は何か。
- (3) 民間企業参入の予定と支援制度はあるか。
- (4) 糸魚川市内で開発できるクリーンエネルギーは何かあるか。

市長答弁

- (1) 当市における新エネルギーの可能性調査を実施し、得た情報を公開することで民間企業の参入の促進につなげるとともに、太陽光発電やペレットボイラー等の導入を促進できたものと考えている。
- (2) 6つのプロジェクトを掲げており、豊かな水資源を活用した中小水力発電の誘致やエネルギーの地産地消を目指した自治体新電力事業を推進していく。
- (3) 複数の企業が中小水力発電の現地調査や事業化に向けて取り組んでおり、各種手続の調整、情報提供などを行っている。
- (4) 豊かな水資源を活用した水力発電や太陽光発電、間伐材などを利用したバイオマス発電などと考えている。



渡辺 栄一
議員

問 大糸線(糸魚川駅～南小谷駅間)の存続について

質問

- (1) 会社側からの提案の概要はどうなっているか。
- (2) これまでも様々な対策を打ってきたと思うが、その成果と問題点は何か。
- (3) バス路線への転換は、結局、地域の衰退を招き、観光客も減り、じり貧となると予想されるが、市の考えを伺う。
- (4) 大糸線応援隊の現状について、隊員数の推移、とりわけここ半年くらいの加入者は何名か。
- (5) 日々の業務の中で、市職員の利用も図れるのではないかとと思うが、市の考えを伺う。
- (6) コロナ禍で需要が落ち込む中での提案はフェアではないと考えるが、市はこの点で反論する考えはあるか。
- (7) 南小谷駅と糸魚川駅間の乗り降りが少なく、乗客のほとんどが観光客という現状があるが、新幹線や日本海ひすいラインとの連絡もあり、観光客中心の需要であっても、乗客を増やし、持ちこたえる方策を考えるべきだと思うが、どのように考えているか。
- (8) 一方で、会社として収益を考えるのは当然であり、一層の連携で集客を図る対策を、市民からのアイデアも集めて企画してほしいと要望するが、どのように考えているか。

市長答弁

- (1) 活性化の取組と合わせ、沿線地域の振興や未来に資する持続可能な路線として、地域と検討を進めていきたいというものである。
- (2) JRが加わる大糸線活性化協議会を設立し、JRと一体となって取り組めたことは成果と捉えているが、コロナ禍により、計画した活動ができない状況が続いている。
- (3) 大糸線や沿線地域の活性化に向けた活動を行っている。
- (4) 令和2年12月から募集を開始し、2月時点の隊員数は約1,600人であり、ここ半年間の加入者は約1,200人となっている。
- (5) 職員の利用促進に努めていく。
- (6) 持続可能な路線として必要との認識に立ったものであり、今後、幅広い議論を行っていく。
- (7) 大糸線活性化協議会において、観光利用の強化を軸とした利用促進事業に取り組んでいる。
- (8) 沿線地域との意見交換会や大糸線応援隊員からの意見を参考にしていく。

その他の質問項目

- コロナ禍での市内各イベントについて
- 糸魚川市が取り組む雇用を生む企業誘致等や看護学校設立に向けた動向について
- 糸魚川市健康づくりセンターにおける屋内プール増築実施設計業務委託の入札について



伊藤 麗
議員



問 糸魚川市内に在住する外国人のサポートについて

質問

- (1) 防災教育を外国人向けに行うことについて、市の考えを伺う。
- (2) 医療機関を受診する際のサポート体制は、十分か伺う。
- (3) 外国籍の児童とその保護者に対して、しかるべきサポートがなされているか伺う。
- (4) 外国人技能実習生に対して、受け入れる側である企業にも努力が必要と考えるが、市として企業側の対応を把握しているか伺う。

市長答弁

- (1) 市民と同様に外国人の方も、防災講座や訓練などを通じて、防災力を高めることが必要と考えている。関係者と連携し、地域や企業も巻き込みながら、今後も継続して取り組んでいく。
- (2) 糸魚川国際人材サポート協会と上越国際交流協会に医療通訳を委託しており、乳幼児健診等で利用されている。
- (3) 糸魚川国際交流協会と連携し、学校において日本語の個別指導を行っている。また、学校生活等における保護者の困り事に対しても個別に相談を受け、支援を行っている。
- (4) 市内企業においても、適切に対応していただいているものと考えている。

問 コロナ禍においても子育てしたいまちづくりについて

質問

- (1) コロナ禍前後で、糸魚川総合病院での出産件数の推移と産婦人科の持続可能性について、市の考えを伺う。
- (2) 休園、休校措置を講じた際、トラブルや問題などの報告があったか伺う。
- (3) 妊娠・出産・子育てに関わる相談事をLINEで受け付ける考えはあるか伺う。

市長答弁

- (1) 令和元年度で150件、2年度で121件、本年度1月末現在で95件となっている。産婦人科の維持に向けて、糸魚川総合病院と協力し、引き続き富山大学へ医師派遣の要望を行っている。
- (2) 今のところ大きなトラブルは報告されていないが、県の対応方針の変更に伴い、保育園・学校や保護者が戸惑う場合もあるため、丁寧に対応している。
- (3) 相談のきっかけづくりとして有効な面もあるが、情報流出のおそれもあることから、よりセキュリティの高い手段を検討していく。

和泉 克彦
議員



問 糸魚川地域の鉄道を利用した地域観光の連携等について

質問

- (1) 大糸線の存続については、今までも議論がなされてきたところではあるが、行政としての今後の方向性について伺う。
- (2) 糸魚川ジオステーション ジオパルでは、鉄道ジオラマを始めとし、鉄道模型や様々な鉄道の資料が展示されている。あわせて、えちごトキめき鉄道株式会社が土休日を基本に運行している「国鉄形観光急行」の企画に、全国から鉄道ファンが糸魚川地域、市振にも大勢訪れている。ジオパルや市振駅へ鉄道ファンに再び訪れてもらうために、ジオパルの展示品などを更に有効活用するための方策について伺う。

市長答弁

- (1) 現在は、大糸線や沿線地域の活性化に向けた活動を行っているところであり、引き続き、新潟・長野両県、沿線関係者と共に持続可能な路線となるよう取り組んでいく。
- (2) ジオパルには各所から展示品が寄せられているところであり、随時、展示替えをしながら有効活用している。

問 いじめ問題と「特別の教科 道徳」に係る子どもの心の成長について

質問

- (1) 今年度、いじめの件数が大幅に増加している理由や背景について伺う。
- (2) コロナ禍における閉塞感を覚える中、学校教育を通して、特に「特別の教科 道徳」の果たすべき役割が大きいと考える。歴史上の人物、あるいは近現代の人物、そして、子どもたちにとって身近な著名人などの生き様から、自分自身の明るい将来を思い描き、想像する力を養うことができると思うが、いかがか。

教育長答弁

- (1) 各校がいじめの定義に基づいていじめを積極的に認知し、初期段階で丁寧に対応するなど、組織的な対応に努めている表れだと捉えている。
- (2) 子どもたちの豊かな心を育成するために、各校の指導計画に基づいて、糸魚川の自然や文化を活かしたり、様々な分野で活躍する人物を扱ったりするなど、道徳の授業改善を積極的に進めるよう働き掛けている。



保坂 悟
議員



問 指定管理者(権現荘)のリスク分担について

質問

- (1) コロナ禍における権現荘のリスク分担について
 昨年の12月定例会において補正予算1,710万円の費目別詳細説明がなく、決算審査特別委員会の集約を行政と議会が黙殺したことは、チェック機能である議会の責任放棄としか言いようがない。改選後の議会改革を後退させるとも残念な出来事であった。
 今定例会において補正予算で1,020万円が計上された。光熱費、人件費、食材費、広告費、消耗品費等の赤字のリスク分担について、議会と市民に分かる詳しい説明を行う考えはあるか。
- (2) 鮮魚等のリスク分担について
 ①鮮魚等の食材費は、リスク分担に含まれるのか。
 ②3か月間1店舗が独占的に納品することは、地域振興になるのか。また、地域振興とは局地的に行うものか。市内全域ではいけないのか。
- (3) リスク分担の算出方法について
 指定管理施設は、施設ごとの目的やSDGsのような政策的な取組や施設の性質によって、リスク分担の割合等が異なる。コロナ禍を機会に明確な計算式の構築は考えているか。

市長答弁

- (1) 資料を作成し、説明していきたいと考えている。
- (2) ①新型コロナウイルス感染症での利用者減による減収と経費節減を総体的に勘案し、リスク分担としている。
 ②広く市内の業者から仕入れを行っている。
- (3) 施設ごとに異なる要素はあるが、可能な限り分かりやすい基準づくりに努めていく。

問 子どもの権利条例の制定について

質問

この条例は「子どもの生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利」を守ることを主な目的としている。子どもたちのためのまちづくりを推進する者として、糸魚川市に子どもの権利条例が必要と思うが、条例を制定する考えはあるか。

市長答弁

今のところ条例制定の考えはないが、子どもの権利が尊重されるよう、引き続き子どもの立場に立った支援、取組を進めていく。

その他の質問項目

- 生活弱者の支援について
- 大糸線の今後の対応と戦略について
- 女性のための環境づくり(男女共同参画運動)について
- 駅北子育て支援施設整備について

田原 実
議員



問 にぎわいの拠点・子育て支援複合施設の構想、計画、建設、運営について

質問

- (1) 12月定例会の一般質問で、子育て施設を中心に、小規模コンビニエンスストア、規制の緩い図書館機能、若い移住者や近隣高齢者が使う温浴施設やランドリーカフェなどを併設し、複合的な機能によって、多世代の市民が市内各所から訪れ、利用する施設を提案した。その後、検討したか何う。
- (2) にぎわいの拠点・子育て支援複合施設全体の運営は、指定管理者制度による運営を考えているか、それ以外のPPP※の手法を考えているか、方針を何う。
- (3) 市民要望があり設置する子育て支援複合施設部分の用途別の部屋の広さ、利用時間、利用人数予定数については、どのようにして決定されるか何う。

市長答弁

- (1) 新しい機能の導入の可能性を踏まえ、民間事業者の意向を把握しながら、基本計画の策定を進めている。
- (2) できる限り民間事業者が運営可能な事業手法を検討していく。
- (3) やまのい保育園内の子育て支援センター移設を考えており、支援センターを含めた施設規模等は、今後検討していく。

※PPP…公民連携。Public Private Partnership (パブリック・プライベート・パートナーシップ) の略。

問 新駅押上駅、糸魚川駅周辺整備と鉄道を活かした広域連携について

質問

- (1) えちご押上ひすい海岸駅が開業して1年となる。開業前より検討されていた地元住民や高校と連携したまちづくり、通勤通学利用者の利便性などについて何う。
- (2) 今後の鉄道需要の掘り起こしには、糸魚川が鉄道ファンの目的地となり、必ず行かなければいけない巡礼地となることが大切であるが、糸魚川市に戦略と実践はあるか何う。

市長答弁

- (1) 地元の皆様と話し合いを進めている。
- (2) 市内の様々な鉄道資産を活用した取組や大糸線応援隊員の協力を得ながら、鉄道ファンの獲得に努めていく。

その他の質問項目

- 「翠(みどり)の交流都市」糸魚川市の様々な都市交流事業の現状と課題について
- 「プラタモリ」から学ぶ、糸魚川の魅力の伝え方と活かし方について



利根川 正
議員



問 農業が抱える問題と地域まるっと中間管理方式について

質問

「地域まるっと中間管理方式」は、農地中間管理機構を利用した集落営農の新しい形である。担い手も、自作希望農家も、引退した農家も全ての農地を中間管理機構に貸し出し、そして、集落全戸で組織された非営利型の一般社団法人がその受け手となり、全ての農地の利用権がこの一般社団法人に設定される。担い手同士と自作希望農家が共存できること、中山間地域等直接支払などの受け皿になること、事業制限がないため商工業者も加入できることなど、総合的に地域づくりに取り組みたい地域に適した形式だと考える。

- (1) 「地域まるっと中間管理方式」を、この糸魚川市でも進めることはできないか伺う。
- (2) 農家が集まり、地域ぐるみで組織化していく共同農家を進められないか伺う。
- (3) この方法では、農業機械の共同化、地域の水田の共同管理など多くのメリットがある。集落営農組織、農業機械共同利用組合など法人組織の新規設立の支援等があれば伺う。
- (4) ほ場整備が必要と考えるが、申請から実現までかなりの年月が掛かっていることから、早めることができないか伺う。
- (5) 事務員の雇用には、集落支援員制度を利用することができないか伺う。
- (6) 土地改良区と多面的機能組織との連携ができないか伺う。
- (7) 地域に合った特産物の育成や6次産業化の取組について、考えを伺う。

市長答弁

- (1) (2) 地域が課題意識を持ち、自主的に進めることが近道だと考えている。
- (3) 相談窓口を設置し、国の支援制度の活用など関係機関が連携して、対応している。
- (4) 事業期間の短縮に向け、引き続き県と連携し、予算の確保や事業推進に努めていく。
- (5) 地域の理解と地域が連携して取り組むことが重要であると考えている。
- (6) 本市においては、土地改良区が管理する施設についても、実質的には地元の農業者が管理していることから、連携はできていると考えている。
- (7) 越の丸ナスなどの高収益作物の作付けを促進するとともに、6次産業化を含め、高付加価値化に向けた取組を引き続き支援していく。

その他の質問項目

- アフターコロナにおける観光産業について
- 新型コロナウイルス感染症対策とワクチン接種について

近藤 新二
議員



問 糸魚川市の新型コロナウイルス感染症対策について

質問

昨年末からのオミクロン株による第6波の感染急拡大に対して、国や新潟県では対応が追いつかなくなったことなどから、「みなし陽性」「感染者から濃厚接触者への連絡」「濃厚接触者の家族」など市民の皆様にとって、分かりにくい対策で不安を感じており、現在の新型コロナウイルス感染症対策について、感染者や濃厚接触者の家族から不満の声が多く聞かれている。

糸魚川市の現状と取組について、以下の項目を伺う。

- (1) 感染状況について
- (2) 感染予防について
- (3) 感染症発生時の対応について

市長答弁

- (1) 2月末時点で308人の感染者が確認され、4つの集団感染が発生している。
- (2) 市民の皆様には基本的な感染対策を徹底していただくとともに、3回目のワクチン接種に取り組んでいる。
- (3) 新たに感染者が確認された場合、県が公表した内容を市民の皆様にも周知している。また、学校等施設での感染者発生時には、速やかに濃厚接触者の特定と施設の利用中止や休校などの周知を行っている。

問 地元就職とUターン就職の推進について

質問

近年の状況について、以下の項目を伺う。

- (1) 今年の市内新規就職者の予定数について
- (2) ハローワーク糸魚川管内の現在の有効求人倍率について
- (3) 中学生・高校生の市民アンケート結果の分析について

市長答弁

- (1) 本年3月市内高等学校卒業予定者の就職希望者は89人で、うち53人が市内就職予定と聞いている。
- (2) 昨年12月時点で1.79倍であり、前年同月と比較して若干上昇している。
- (3) 第3次総合計画策定に関する市民アンケートでは、糸魚川市に住み続ける、又は戻ってくるための条件として、中学生・高校生共に働きたい仕事があることを上位に選んでおり、仕事が大変重要な要素であると認識している。

その他の質問項目

- 空き家等の現状と利活用について



新保 峰孝
議員



問 新型コロナウイルス感染症対策と新潟県地域医療構想について

質問

- (1) 市内における第6波の感染状況をどのように捉え、対応しているか。
- ①福祉施設、小中学校の状況と対応はどのようになっているか。
- ②第6波の感染拡大の特徴と糸魚川市としてどのように対応しているか。
- ③新潟県の感染状況発表内容の縮小は、どのような理由によるものか。
- (2) 3回目のワクチン接種体制と接種の進行状況は、どのようになっているか。
- (3) 新型コロナウイルスの感染が長期化する中で、飲食・宿泊業以外の業種・産業への影響を把握しているか。対策はどのようになっているか。
- (4) 感染症の流行に対応した保健所体制の強化を、県に求める必要があるのではないかと考えているか。
- (5) 新潟県地域医療構想では、上越圏域については県立中央病院を基幹病院とした再編を行いたい意向のようだが、糸魚川総合病院で手術ができないような体制では、市民の命が守られないことになる。どのように考えているか。

市長答弁

- (1) ①施設、学校共に集団感染が発生していることから、改めて利用者、児童・生徒、職員等の体調管理、感染対策の強化徹底に取り組んでいる。
- ②家庭内感染及び園や学校での感染拡大が続いている状況である。基本的感染対策を徹底していただくとともに、3回目のワクチン接種に取り組んでいる。
- ③新規感染者の増加により、本来の保健所業務である疫学調査や感染者対応に集中できるよう、事務の重点化を図ったためと捉えている。
- (2) 現在、開業医による個別接種を中心に行っており、2月末時点の接種率は、対象者の14.1%となっている。
- (3) 昨年9月に市が実施した事業継続給付金の支給状況から影響は把握しており、国、県、市の助成金を最大限に活用していただきたいと考えている。
- (4) 今まで保健師の派遣を行うなど協力をしているところだが、引き続き保健所の十分な体制の確保を要望していく。
- (5) 当市の地理的要因を考えると、糸魚川総合病院の医療機能を維持することが必要だと考えている。

その他の質問項目

- 談合問題について
- 高齢者の補聴器活用推進について
- 大糸線の活性化について

加藤 康太郎
議員



問 自転車を活用した観光の推進とまちづくりについて

質問

- (1) 当市は、「グランfond糸魚川」が平成17年から15年間、開催された実績がある。サイクリングワールドとしての素晴らしさが全国的にも認知されており、サイクリストや観光業から、自転車を活用した「サイクルツーリズム」の新たな推進に大きな期待が寄せられている。
- ウィズコロナ、アフターコロナも見据えた自転車を活用した観光の推進について、市の見解を伺う。
- (2) 上越・糸魚川・妙高広域観光ブランド推進検討会として、3市にまたがる2つのサイクリングコース（妙高山麓～上越ルート、久比岐自転車道）を活用した観光地域づくりや、まちなかレンタサイクルを推進しているが、市民の健康増進、自転車通行空間の整備や公共交通機関との連携など、自転車を活用したまちづくりについて伺う。

市長答弁

- (1) 新年度、国、県や交通事業者などと連携して、サイクルツーリズム推進事業を展開し、自転車を通じた誘客に向けて取り組んでいく。
- (2) 自転車に親しみやすい環境整備を進め、市民が自転車に乗る機会を増やすほか、サイクルトレインの運行や二次交通の確保など、公共交通と連携した自転車の活用を進めていく。

問 自治体DX(デジタル・トランスフォーメーション)推進に向けた取組について

質問

自治体DX※推進に向けた取組状況について伺う。

市長答弁

国の計画に基づいて、マイナンバーカードの普及促進やAI(人口知能)・RPA※の利用促進による業務の効率化に取り組んでいる。

新年度は、庁内の組織体制を整備するとともに、地域の実情を反映した当市独自の推進計画を策定し、行政手続のオンライン化や電子地域通貨の導入検討など、市民生活の利便性向上に向けた取組を進めていく。

※DX(デジタルトランス・フォーメーション)

…デジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること。

※RPA…人間がパソコン上で行う作業を自動代行するツール。Robotic Process Automation(ロボティック・プロセス・オートメーション)の略。



田原 洋子
議員



問 来海沢地区地すべり災害の復興状況について

質問

- (1) 精神的ケアはどのように行っているか。
- (2) 避難解除のめどは立っているか。
- (3) 農地農業用施設の復興状況はどうか。
- (4) 冬季期間、緊急ルートとなっている根知方向の除雪はどうなっているか。
- (5) 県道が緊急で通行止めになったときに、御前山地区、市野々地区に取り残された方の孤立対策はどうなっているか。
- (6) 県道が通行止めになったときに、住民以外に知らせる方法は、どのような手段があるか。

市長答弁

- (1) 地区役員のほか、地区住民の皆様との情報共有の場を定期的に設け、対策工事の進捗状況などを伝えるほか、地区からの要望等を聴き、対応している。
- (2) 雪解けに伴う地下水位等の観測データを見ながら判断していく。
- (3) 国の災害査定を終え、現在、詳細設計を行っており、早期復旧に努めていく。
- (4) 道路管理者である県が、積雪状況を見ながら、適宜、道路除雪を実施している。
- (5) 市野々会館を一時避難所として開設する対応としており、備蓄品を配備している。
- (6) 防災行政無線や安心メールで周知する対応としている。

問 骨髄移植について

質問

- (1) 骨髄移植ドナー支援制度を導入する考えはあるか。
- (2) 新潟県に対し、骨髄移植ドナー支援制度の予算補助を求めることは検討しているか。
- (3) 糸魚川市内でドナー休暇制度を導入している企業・団体はあるか。

市長答弁

- (1) 新年度から骨髄移植ドナー支援制度を導入することになっている。
- (2) 市長会を通じて要望していく。
- (3) 社会福祉協議会や糸魚川総合病院が導入している。

その他の質問項目

○合理的配慮について

横山 人美
議員



問 「ひとみかがやく日本一の子どもをはぐくむ」ための、保育園、幼稚園職員の人材育成と働き方改革の推進並びに教育的見地からの保育園、幼稚園の統合・民営化の推進の必要性について

質問

- (1) 保育現場では、子どもたちの朝の受入れから夕方の帰宅まで、子どもたちが目の前にいる限り職員には途切れない勤務状態が続くと思われるが、働き方改革の視点において、どのような工夫をしているか。
- (2) 保育園、幼稚園における人事異動は、どのような視点を持って行っているか。また、園長、職員の人事考課（評価）は、どのように行っているか。
- (3) 保育経験の差から生まれる課題をどのような形で解消しているか。
- (4) 公開保育の目的と内容、実施方法を伺う。
- (5) こども課と保育現場との連携、コミュニケーションは、十分にされているか。
- (6) 男性保育士や男性管理職を積極的に保育現場に登用することは、男女共同参画を進める上で、また、社会の多様化による家庭環境の変化の中で育つ子どもたちのために良い影響を与えると考えるが、いかがか。
- (7) 国や県の動きに合わせた幼児教育の質の向上を目指すには、現状の糸魚川市の保育園、幼稚園には、施設の統合や民営化による保育士の所得と地位の向上、働き方改革も含めた思い切った改革が必要であるとするが、いかがか。

教育長答弁

- (1) 記録・書類業務の見直しなどによる負担軽減やICT（情報通信技術）を活用した事務改善を段階的に進めている。
- (2) 経験や実績などを考慮した異動としており、市の人事評価制度に基づき行っている。
- (3) 各種研修会への参加や、各園を巡回指導する「保育支援指導員」、「保育者支援アドバイザー」の配置により、保育力の向上を図っている。
- (4) 保育の質の向上を目的に行っており、他園で行われている保育実践を学ぶことで、自園における保育の見直しや保育士個々の保育力向上につながり、保育環境の充実が図られているものと考えている。
- (5) 園長等との定期的な保育連絡会議により連携を図るとともに、園訪問によって会計年度任用職員も含めた職員との懇談を行いながら、意思疎通を図っている。
- (6) 性別を問わない保育の専門性が期待されていることから、今後も分け隔てなく採用・配置をしていく。
- (7) 保育士等の処遇改善や業務負担の軽減等を進めるとともに、保育ニーズへの対応や効率的な保育運営の観点から、適正配置、民営化についても検討していく。

**阿部 裕和**
議員**問 青海シーサイドパーク・須沢臨海公園の活用について****質問**

- (1) 立入禁止措置が取られているドームなぎさであるが、周辺地域全体としても一刻も早い修繕を望んでいる。ドームなぎさの現在の状態及び改修についての進捗状況を伺う。
- (2) ドームなぎさは大型休憩スペースとして位置づけられているが、その他の利用方法、許可される用途について、具体的に伺う。
- (3) パターゴルフ場の利用者数が少ない状況であるが、原因は何だと捉えているか。
- (4) パターゴルフ場の利用者数増加を望むが、市としてはどのように考えているか。

市長答弁

- (1) 現在は、利用者の安全を最優先とし、県により利用禁止の理由を明記した看板設置と併せて施設の周囲をネットで囲み、施設内への立入りを禁止している。改修については、県が詳細設計を行っており、来年度に工事を実施する予定と聞いている。
- (2) 休憩施設として整備したことから、本来の目的に合った利用に限定している。
- (3) 趣味やレジャーの多様化などが減少傾向の一因となっているものと考えている。
- (4) 運営の工夫やオートキャンプ場の利用者にPRするなど、利用者増につなげていきたいと考えている。

問 市内小中学校の空調設備設置状況について**質問**

近年の猛暑を受け、各自治体でも学校の空調整備が大きく進んでおり、整備の対象は教室から体育館へと移っている状況である。当市において、普通教室は全国平均を上回る設置率であるが、特別教室、体育館等は全国平均を下回る設置率である。子ども一貫教育基本計画では「ひとみかがやく日本一の子どもを糸魚川市から」と目標を掲げている。空調設備の拡充を図り、快適な教育環境を整えることが肝要かと考えるが、市としての考えを伺う。

教育長答弁

現在、普通教室への空調設備設置が完了し、財源確保に努めながら、順次、特別教室への設置を進めている。体育館については、多額の整備費を要するため、財源確保が大きな課題と考えている。

田中 立一
議員**問 健康づくりセンター「はびねす」の屋内プール建築設計業務委託及び建築工事の入札について****質問**

- (1) 健康づくりセンター「はびねす」の屋内プール建築設計業務委託の入札について、市の担当者と落札業者双方が国の建築基準・用途と違う積算であることが判明した。
極めて特殊で高度な能力を要する屋内プールの設計業務について、専門性の高い資格を持った設計業務のエキスパートが、最も基本中の基本と思える箇所で、元市職員は積算ミスをし、落札業者はJV※を組んでいるにもかかわらずミスをし、その結果契約をしたというのは不自然に思うが、市の見解を伺う。
- (2) ミスをした業者が、設計業務と同時に1,620万円の工事監理業務を受注し、ミスをした元市職員の担当者と約9億円という特殊で大規模な建築工事に係る監理業務をしたことについて、それぞれの入札等の検証も必要と考えるが、考えを伺う。

市長答弁

- (1) 市、業者共に積算を誤っているが、なぜ誤ったのかについては、現状ではこれ以上、確認できない状況である。
- (2) 各工事の設計内容について、確認していきたいと考えている。

※JV…共同企業体。一つの建設工事を受注、施工することを目的として形成する事業組織体。

問 糸魚川市の農業の取組について**質問**

- (1) 高収益作物による所得確保の取組について伺う。
- (2) 第5期の中間点を迎える、中山間地域等直接支払制度の取組状況について、特に「集落戦略の作成」や「棚田地域振興活動」について、状況を伺う。

市長答弁

- (1) 園芸振興プランに基づき、越の丸ナスや枝豆の作付けを関係機関と連携して推進している。
- (2) 集落戦略策定会議を開催し、地域が抱える課題の洗い出しと対応策を検討している。

その他の質問項目

- ヤングケアラーについて
- 地域公共交通について
- 動物愛護の取組について



宮島 宏
議員



問 美しい糸魚川への思いを深めるために

質問

- (1) 旧青海町では青海八景として町内の優れた景観の場所を選定している。これに倣って市内にある優れた風景を「糸魚川三十六景」と選定し、それらを教育や地域振興に活用することはできないか。
- (2) 石のまちプロジェクトでは、おもしろ石や石のかおのコンテスト、石のガイド講座などを行っている。これを更に発展させるために、「糸魚川貴石七選」・「糸魚川名石七選」・「糸魚川珍石七選」・「糸魚川奇石七選」を選定してはいかがか。
- (3) 石のまちプロジェクトで、石を使った料理を導入する考えはあるか。例えば、わっぱ煮、石焼き芋、石の焼き肉などを糸魚川の食材に応用すれば、石のまちならではのものとなるのではないか。
- (4) 昨年、海洋研究開発機構が行ったすべらない砂甲子園においてヒスイ輝石岩が3位に選ばれた。滑りにくさは科学的に意味を持つものであるので、まなそばーよなどでやってみてはいかがか。また、逆に滑る砂の実験はいかがか。

市長答弁

- (1) 現時点では「三十六景」としての選定は考えていない。
- (2) 「七選」のような選定は考えていないが、今後、石を楽しんでもらうためのツールの作成などを計画している。
- (3) 石の活用方法の一つとして面白いアイデアであり、このような動きがあれば連携していきたいと考えている。
- (4) 当市の多様な岩石の特徴を楽しく学べる体験学習の一つとして、検討していく。

問 美しい糸魚川を目指して

質問

- (1) 国連海洋科学の10年におけるJGN※取組推進宣言を受けて、当市ではどのような取組を行うか。
- (2) 令和3年12月23日にフォッサマグナミュージアムの駐車場でごみ収集車の火災事故があった。この事故はどのような経緯で起きたのか。今後どのような対策を取るのか。

市長答弁

- (1) 海洋プラスチック対策として、セミナーの開催や河川、海岸清掃などを計画している。
- (2) 金物収集時にスプレー缶からの引火が原因と思われる車両火災が発生した。スプレー缶の穴あけや分別の徹底を啓発していく。

※JGN…日本ジオパークネットワーク

東野 恭行
議員



問 姫川港西ふ頭2号岸壁(水深11メートル)の整備について

質問

- (1) 姫川港西ふ頭2号岸壁(水深11メートル)の改修事業期間は、平成10年度の開始から令和8年度までとされているが、現在までの進捗状況を伺う。
- (2) 姫川港西ふ頭2号岸壁の整備により期待される効果、経済波及効果について伺う。
- (3) 松本糸魚川連絡道路の整備に伴い、長野県中信地域の海の玄関口としての役割も期待されるが、どのような効果が期待されるか伺う。
- (4) 姫川港西ふ頭に水深11メートルの岸壁を整備する際に排出される土砂の容量と活用について、市の考えを伺う。
- (5) 令和8年度の完成に向け、姫川港の東側(寺島地区周辺)の周辺整備・開発について、考えがあるか伺う。

市長答弁

- (1) 港湾整備計画に基づき、現在、港内の^{しゅんせつ}浚渫や岸壁の基礎工事、ケーソン製作工事等を実施している。
- (2) 大型船舶の入港による海外等への取扱貨物量の増加、それに伴う荷役や運送など港湾関連事業の活性化、設備投資や雇用の増加等も期待している。
- (3) 安定した物流経路の確保と輸送時間の短縮により、太平洋側の港に対して競争力が高まることを期待している。
- (4) 浚渫される土砂の量は、15万^mと推定されており、陸地での盛土処分が計画されている。
- (5) 現在、整備・開発の計画はない。

問 糸魚川版CCRC※構想の可能性と移住定住の促進について

質問

国土交通省のサービス付き高齢者向け住宅整備事業の要件の中に「市町村のまちづくり方針と整合していること」とあるが、地方の独自性あるサービスや環境の提供により、高齢者の移住を促せるものと考えているか伺う。

市長答弁

首都圏での介護需要の増やコロナ禍を背景として、地域で活躍できる元気な高齢者の地方移住を推進していく。

※CCRC…高齢者が健康なうちに地方へ移り住み、生涯学習や社会貢献に取り組みながら暮らす生活共同体。
Continuing Care Retirement Community(継続的なケアを提供する高齢者コミュニティ)の略。



古畑 浩一
議員



問 混迷する糸魚川市。諸課題への対応と行政責任について

質問

- (1) 官製談合防止法違反等事件の発生から裁判・判決までの経過と、再発防止策と入札に対する対応。第三者委員会からの報告提言等について伺う。
- (2) 健康づくりセンターはびねすプール・ダンピング問題等について伺う。
- (3) 市職員の時速50km以上の速度超過による交通違反などを始めとした、コンプライアンスの徹底等について伺う。
- (4) 株式会社能生町観光物産センター・権現荘を始めとした第三セクター並びに指定管理者の在り方と経営状態と補助協力金等について伺う。
- (5) 新型コロナウイルス感染症への対応とまん延防止等重点措置期間延長の意味、解除後の対応などについて伺う。
- (6) 部長制の廃止など行財政改革等について伺う。
- (7) 大糸線の廃線問題、糸魚川市及びJ R 西日本の考え方並びに公共交通について伺う。

市長答弁

- (1) 当市職員が、令和2年12月に執行した新駅公衆トイレ整備工事の入札に関し、業者に対し工事価格を教示し、工事価格に近い金額で落札されたことにより、令和3年5月19日に逮捕、6月8日に起訴され、8月27日に懲役1年6か月、執行猶予3年の判決が下った。再発防止に向けて、第三者委員会からの提言に基づき、しっかりと取り組んでいく。
- (2) 積算誤りにより、入札に参加された皆様にご迷惑をお掛けしたことから、再発防止に向けて点検の強化に努めていく。
- (3) 時速50kmを超える速度違反は誠に遺憾であり、公務員として決して許されるものではないと思っている。今後、2月に策定した「糸魚川市コンプライアンス行動指針」に基づき、全職員に対し、コンプライアンスの徹底を指示・指導していく。
- (4) 在り方や設置目的などを改めて見直していきたいと考えている。
- (5) 保健所と連携し、市内での感染拡大防止に努めており、まん延防止等重点措置の延長は、感染者数や感染速度を抑え、今後懸念される医療のひっ迫を避けるために実施されたものである。
また、解除後は、状況に応じて市内消費を喚起する経済対策を実施していく。
- (6) 組織の見直しも含め、行政改革の中で取り組んでいくが、部長制は継続していく。
- (7) 大糸線利用促進輸送強化期成同盟会に設置した振興部会において、地域公共交通としての大糸線沿線の活性化及び持続可能な路線としての方策について幅広く検討を行っていく。

決 議

市民生活に直接関わる緊急、重大な事項に関し、議会の意思を対外的に表明するために行う議決のことをいいます。

本定例会において、次のとおり決議を議員発議し、可決しました。

なお、この決議文は関係機関に提出しました。

ロシアによるウクライナ侵攻に 断固反対する決議

令和4年(2022年)2月24日、ロシアはウクライナに対し、軍事施設のみならず一般市民が暮らす都市への軍事侵攻を開始し、多数の人命と財産が奪われている。さらには稼働中の原子力発電所への武力攻撃や、チェルノブイリ原子力発電所の全電源を遮断する暴挙に出ている。この行為は、ウクライナの主権と領土の一方的な侵害であるばかりか、核物質の拡散により近隣諸国をも深刻な影響を長期間に渡り与えかねないものであり、国際法及び国連憲章に重大かつ明白に違反しているものである。

また、ロシアのプーチン大統領は、核戦力の行使についても示唆するような発言をしており、これらに対して、厳しく非難するものである。

このような武力による一方的な現状変更は、断じて容認できるものでなく、ロシアの侵略行為は、ヨーロッパにとどまらず、アジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがしかねない極めて深刻な事態を招いている。さらには攻撃により現地の在留邦人の身の安全が保てるか不安な状況に置かれている。

糸魚川市では、市民とともに平和と安全を求める誓いを新たに、核兵器の廃絶と戦争のない真の恒久平和を願った平和都市宣言を平成19年に行っており、ロシアのウクライナへの侵攻に対して断固抗議するとともに、政府において、下記事項に対応されるよう強く求めるものである。

記

- 1 ロシアによるウクライナへの攻撃を即時停止し、同国内から無条件でロシア軍を完全撤退するよう国際社会と連携して働きかけること。
- 2 現地在留邦人の安全確保に全力を尽くすとともに、国際社会と緊密に連携し、毅然たる態度でロシアに対して制裁措置の徹底及び強化を図ること。

令和4年3月22日

糸魚川市議会

議 案 の 審 議 結 果

第1回臨時会（1月14日）

番号等	件 名	結 果
1	令和3年度糸魚川市一般会計補正予算（第10号）	可決

第2回臨時会（2月1日）

番号等	件 名	結 果
2	令和3年度糸魚川市一般会計補正予算（第11号）	可決

第3回定例会（2月21日～3月22日）

番号等	件 名	結 果
3	令和3年度糸魚川市一般会計補正予算（第12号）	可決
4	令和4年度糸魚川市一般会計予算	可決
5	令和4年度糸魚川市国民健康保険事業特別会計予算	可決
6	令和4年度糸魚川市国民健康保険診療所特別会計予算	可決
7	令和4年度糸魚川市後期高齢者医療特別会計予算	可決
8	令和4年度糸魚川市介護保険事業特別会計予算	可決
9	令和4年度糸魚川市有線テレビ事業特別会計予算	可決
10	令和4年度糸魚川市集合支払特別会計予算	可決
11	令和4年度糸魚川市ガス事業会計予算	可決
12	令和4年度糸魚川市水道事業会計予算	可決
13	令和4年度糸魚川市簡易水道事業会計予算	可決
14	令和4年度糸魚川市下水道事業会計予算	可決
15	糸魚川市コンプライアンス審査会条例の制定について	可決
16	糸魚川市入札監視委員会条例の制定について	可決
17	糸魚川市個人情報保護条例及び糸魚川市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
18	糸魚川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
19	糸魚川市基金条例の一部を改正する条例の制定について	可決
20	糸魚川市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
21	辺地に係る総合整備計画の変更について	可決
22	糸魚川市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	可決
23	糸魚川市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決
24	糸魚川市神道山公園条例の一部を改正する条例の制定について	可決
25	公有水面埋立ての免許の出願に関し意見を述べることについて	可決
26	糸魚川市犯罪被害者等支援条例の制定について	可決
27	糸魚川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
28	糸魚川市医療技術者及び介護従事者修学資金貸与条例の一部を改正する条例の制定について	可決

番号等	件 名	結 果
29	令和3年度糸魚川市一般会計補正予算（第13号）	可決
30	令和3年度糸魚川市ガス事業会計補正予算（第1号）	可決
31	令和3年度糸魚川市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
32	令和3年度糸魚川市下水道事業会計補正予算（第3号）	可決
33	令和3年度糸魚川市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決
34	教育委員会委員の任命について	同意
35	令和3年度糸魚川市一般会計補正予算（第14号）	可決
請願1	「最低賃金の改善と地域経済の回復にむけた」意見書の採択を求める請願	不採択
発議1	ロシアによるウクライナ侵攻に断固反対する決議	可決

人事案件

各種委員の選任等について、市長から同意や意見を求められたものに対して、議会で審議し、同意や答申をします。

教育委員会委員の任命

現委員の任期満了に伴い、次の方の任命に同意しました。

たにくち かすゆき

谷口 一之 さん（上刈・再任）

任期 令和4年5月20日から4年間

市議会をホームページでご覧いただけます

市議会ホームページで、本会議の生中継映像、録画映像及び予算審査特別委員会の録画映像の配信を行っています。



生中継配信



録画映像配信

※令和4年4月から本会議及び予算審査特別委員会の録画映像はYouTube「糸魚川市議会チャンネル」で配信しています。

市議会ホームページは、「糸魚川市議会」で検索いただくか、下の二次元バーコードをスマートフォン等で読み取るとご覧いただけます。

糸魚川市議会

検索

ホームページ検索

二次元コード読み取り

糸魚川市議会トップページ

議会を傍聴
しませんか

6月 市議会定例会の会期及び日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
6/5	6 本会議 初日	7	8	9 議会運営 委員会	10 本会議 一般質問	11
12	13 本会議 一般質問	14	15	16 建設産業 常任委員会	17 市民厚生 常任委員会	18
19	20 総務文教 常任委員会	21	22 議会運営 委員会	23 本会議 最終日	24	25

- 本会議は6階議場、委員会は6階第二委員会室で午前10時から開始します。
- 本会議(議場)の傍聴席入口は7階です。市役所正面玄関に入って左側のエレベーターをご利用ください。
- 本会議、委員会いずれも各入口に受付簿がありますので、住所と氏名を記入して入場してください。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクを着用し、他の傍聴者と間隔を空けてお座りください。



議場の傍聴席



7階傍聴席ロビー



第二委員会室の傍聴席



受付簿

！ 傍聴される方へのお願い(注意事項) ！

- ◎傍聴席で静かに傍聴してください。
- ◎飲食や喫煙はしないでください(飲物はロビーでお飲みください)。
- ◎携帯電話をお持ちの方は電源を切るか、マナーモードにしてください。
- ◎その他糸魚川市議会傍聴規則に定められた事項を守ってください。



※6月定例会で議題とする請願・陳情は、5月27日(金)までに提出されたものになります。
詳しくはお問合せください。